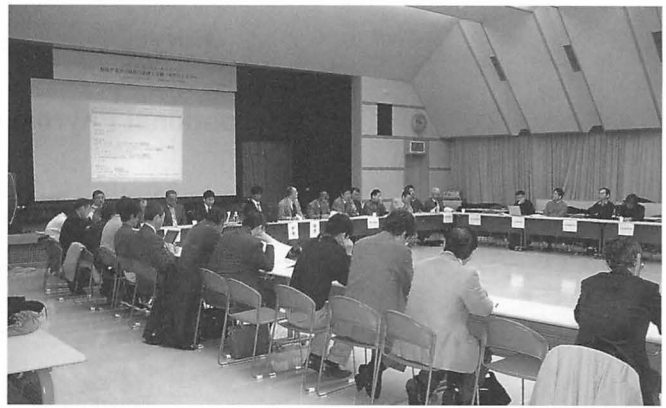


詳細を検討することとなった。b) ニュースレター：13号をシンポジウム要旨，加盟学会トピックス，14号を加盟学会トピックス，シンポジウム予告として出版。c) ホームページ：現在2つあるHPの早急な一本化を図る。掲載する情報の収集の方法については引き続き役員会で検討（当面の間，加盟学会からの情報や要望は連合メーリングリストまたは佐々木幹事に送る）。d) タイプ標本データベース：証拠標本も加えたデータベース作成を進めたい旨，説明があった。GBIFとの協同も検討。e) その他：生物教育学会との連携に関連して，教員向けの雑誌等に最近の生物分類に関する特集を組んでもらうなどを検討してはどうかとの意見があった。以上の2008年度事業計画について承認された。(4) 2008年度予算：2008年度予算案が示され，承認された。特別会計については頒布に応じた予算執行をしていくとの説明があり，承認された。(5) その他：連合の活動に必要なアルバイト雇用，役員会旅費について意見が出された分担金の値上げも含めて，役員会で検討することが確認された。各種法令へのパブリックコメント，要望書，意見書などへの連合としての対応が必要ではないかとの意見が出され，役員会で検討していくことになった。(6) 次回総会の開催日・開催地：役員会一任で了承された。



分類学会連合の総会（科博新宿分館）

[シンポジウム]

動物界高次分類群の系統と分類 —発生から分子へ

「連合代表挨拶」松井正文（京大），「エボデボから見た後口動物の系統」和田 洋（筑波大），「反復説再考」倉谷 滋（理化学研究所），「無脊椎動物の系統と分類 —最近の話題」白山義久（京大），「脊椎動物の起源を探る —脊椎動物の最も新しい共通祖先はホヤかナメクジウオか？」西川輝昭（名大），「系統ってなに？」馬渡峻輔（北大）・伊藤 希（筑波大）。

学会・シンポジウム情報

2008年3月21日（金）～24日（月）

第32回大会（東京海洋大，東京）[本誌大会プログラム]

2008年3月27日（木）

ナショナルバイオリソースプロジェクト藻類ワークショップ「藻類の凍結保存技術」（国立環境研究所，つくば）[本誌49頁]

2008年5月24日（土）～25日（日）

第11回マリンバイオテクノロジー学会大会（京都大，京都）[本誌49頁]

2008年6月23日（月）～26日（木）

7th International Chrysophyte Symposium (Connecticut College, New London, Connecticut, U.S.A.) [http://www.conncoll.edu/academics/departments/botany/ICS.html]

2008年9月25日（木）～27日（土）

日本植物学会第72回大会（高知大，高知）
[http://bsj.or.jp/index-j.php]

2008年10月20日（月）～24日（金）

5th World Fisheries Congress（Pacifico Yokohama，

Yokohama, Japan) [http://www.5thwfc2008.com/]

2008年10月27日（月）～30日（木）

The 8th International Conference on the Environmental Management of Enclosed Coastal Seas (Shanghai Everbright Convention & Exhibition Centre International Hotel, Shanghai, China) [http://www.emecs-8.ecnu.edu.cn/]

2008年11月3日（月）～7日（金）

The 13th International Conference on Harmful Algae 2008 (The Hong Kong Disneyland Hotel, Hong Kong, China) [http://www.hab2008.hk/home.htm]

2008年11月10日（月）～14日（金）

5th Asian Pacific Phycological Forum (Wellington, New Zealand) [http://www.appf2008.com/index.htm]

2009年8月2日（日）～8日（土）

9th International Phycological Congress (National Olympics Memorial Youth Center, Tokyo, Japan) [http://www.ec-japan.jp/ipc9/index.html, 次頁]

第9回国際藻類学会議のお知らせ

9th International Phycological Congress (IPC9 Tokyo)

標記の会議が2009年8月2-8日に東京で開催されます。この会議は、基礎・応用を問わず藻学のすべての分野の研究者が集う4年に1度の国際会議です。多くの日本藻類学会員のご参加をお願いいたします。

主 催：国際藻類学会および IPC9 国内準備委員会
日 程：2009年8月2日(日) - 8日(土)
会 場：国立オリンピック記念青少年総合センター
 (<http://nyc.niye.go.jp/>)

プログラム

8月2日(日)：受付、開会式、ウェルカム・レセプション
 8月3日(月)：基調講演、シンポジウム、口頭・ポスター発表
 8月4日(火)：基調講演、シンポジウム、口頭・ポスター発表
 8月5日(水)：ミッドコンGRESS・ツアー
 8月6日(木)：基調講演、シンポジウム、口頭・ポスター発表、
 パンケット
 8月7日(金)：基調講演、シンポジウム、口頭・ポスター発表、
 閉会式、フェ アウェル・パーティー
 8月8日(土)：国際藻類学会議国際組織委員会

プレ・コンGRESS・ツアー (予定)

- 1) 北海道方面採集旅行
- 2) 沖縄方面採集旅行
- 3) 伊豆半島方面採集旅行

各種締め切り

2008年12月1日(月)：参加者への補助金申請締め切り
 2009年2月1日(日)：ワークショップ申し込み締め切り

2009年3月31日(火)：早期参加申し込み・アブストラクト
 提出締め切り
 2009年5月15日(金)：参加費、宿泊費、エクスカージョン
 参加費の取り消し手続き最終期限

シンポジウム

- (1) Comparative evolutionary genomics
- (2) Phytoplankton dynamics and life cycle
- (3) Chemical ecology
- (4) Shifting concepts of speciation
- (5) Symbioses
- (6) Algae, bio-fuel and CO₂ sequestration
- (7) Algae under multiple stress
- (8) Biodiversity and ecological function
- (9) Algal disease
- (10) Alien algae and invasive species
- (11) Phylogeny – new advances and insights
- (12) Algae and bioremediation

公式ホームページ開設のお知らせと仮登録のお願い

IPC9の公式ホームページ (<http://www.ec-japan.jp/ipc9/>) を開設しました。順次新しい情報を掲載しますのでご参照ください。また、今後必要な情報をご提供できますように、IPC9に興味をお持ちの方は是非「Pre-registration」のページから仮登録していただけますようお願いいたします。

コンビーナー

井上 勲 (iinouye@sakura.cc.tsukuba.ac.jp)
 川井浩史 (kawai@kobe-u.ac.jp)
 堀口健雄 (horig@sci.hokudai.ac.jp)

第11回マリンバイオテクノロジー学会大会のお知らせ

第11回マリンバイオテクノロジー学会大会を下記の要領で開催予定をしております。

- 大会日程：** 平成20年5月24日（土）～25日（日）
会 場： 京都大学吉田南総合館北棟
大会役員： 大会会長 左子芳彦 京都大学農学研究科教授
 実行委員長 宮下英明 京都大学人間・環境学
 研究科准教授
大会事務局： 〒606-8501 京都市左京区吉田二本松町
 京都大学大学院人間・環境学研究科
 第11回マリンバイオテクノロジー学会大会実行委員会
 TEL/FAX：075-753-7928
 Mail：miyashita@hml.mbox.media.kyoto-u.ac.jp
懇 親 会： 開催日 5月24日（土）18：00～20：00
 場 所 京都大学生協吉田食堂
大会の内容： 1. 一般講演（口頭発表，ポスター発表）
 2. シンポジウム（一般）
 3. 懇親会
 ＊シンポジウムの企画を公募致します。シンポジウムの
 企画をご希望の方は大会事務局までご連絡下さい。
発表形式： 1. 口頭発表：一般講演は質疑含み15分，液晶
 プロジェクター使用
 2. ポスター発表：学生を対象とした優秀ポスター
 の表彰を予定
一般講演のセッション：
 1. 微生物 2. 微細藻 3. 海藻・付着生物
 4. 魚介類 5. 天然物化学・未利用資源
 6. バイオミネラリゼーション 7. マリンゲノム
 8. 環境・環境適応 9. その他

発表申込みの締め切り： 平成20年3月14日（金）必着
講演要旨の締め切り： 平成20年4月18日（金）必着
講演申し込み方法：

発表希望者は書式に従って，申込者氏名・所属および連絡先，
 発表希望セッション，希望発表形式，発表者氏名・所属略記（連名
 の方全員），演題を明記の上申し込んで下さい。申込みはホームペー
 ジ経由で受け付けます。詳細は大会ホームページでご確認下さい。

参加登録方法：

参加登録希望者は書式に従って，申込者氏名・所属および
 連絡先を明記の上，ホームページ経由で申し込んで下さい。
 詳細は大会ホームページでご確認下さい。

第11回大会ホームページ：

<http://hawk.kyoto-bauc.or.jp/gakkai/mbt2008/>

参加費の振り込み：

参加費および懇親会費は事前にお振り込みください。

参加費	平成20年4月18日まで		平成20年4月19日以降	
	一般	学生	一般	学生
会 員	¥5,000	¥2,000	¥7,000	¥3,000
非会員	¥9,000	¥4,000	¥10,000	¥5,000

懇親会費は，一般6,000円，学生3,000円です。また要旨集
 のみ入り用の方は1冊2,500円にて販売いたします。

参加申し込みの後，お手数ですが同封の振替用紙をご使用に
 なり，最寄りの郵便局にてお振り込みください。通信欄には「振
 り込まれた金額の内訳」，「申込者氏名」，「所属および連絡先」
 をご記入ください。

参加費の振込先（郵便振替口座）：

口座番号：00910-7-106100

加入者名：第11回マリンバイオテクノロジー学会大会

ナショナルバイオリソースプロジェクト藻類ワークショップのお知らせ

藻類の凍結保存技術

ナショナルバイオリソースプロジェクト藻類ワークショップ
 「藻類の凍結保存技術」が下記の要領で開催されます。ご興味
 のある方は，下記連絡先へ事前連絡の上ご参加ください。

日 時： 2008年3月27日（木）
 午前9時30分～午後5時
会 場： 独立行政法人国立環境研究所中会議室
 （茨城県つくば市小野川16-2）

プログラム： Current status of protistan cryopreservation research,
 including practical issues for algal cryopreservation:
 John G. Day (CCAP, UK), 緑藻クラミドモナス凍
 結保存の実施例：皆川 純（北大・低温研），ビー

ズ簡易予備凍結法を用いた植物培養細胞の超低温
 保存：小林俊弘（理研），群体性緑藻ボルボックス
 変異株の凍結保存に向けて：西井一郎（理研），
 国立環境研究所微生物系統保存施設での微細藻類
 の凍結保存：森 史（国環研），神戸大学海藻類
 系統株コレクションにおける大型海藻類の凍結保
 存：山岸隆博（神戸大・内海域セ）

連 絡 先： 〒305-8506 茨城県つくば市小野川16-2

（独）国立環境研究所微生物系統保存施設
 笠井文絵

☎ 029-850-2424, E-mail: kasaif@nies.go.jp